

はちじゅうはちや 八十八夜について知ろう！

5月 1日（木）

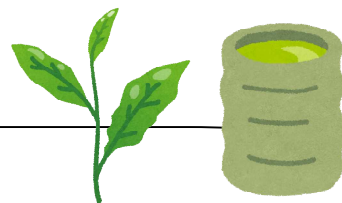
♪「夏も近づく八十八夜〜」♪という歌があります。
 はちじゅうはちや りっしゅん かぞ はちじゅうはちにちめ
 八十八夜は立春から数えて八十八日目のことをい
 います。今年、5月1日が「八十八夜」です。農家
 では、種まきなどの農作業をするのによい時期です。
 りっしゅん にちめ ちゃばたけ ちゃつ はし めやす
 立春から88日目で、茶畑では茶摘みをする目安
 の日になります。



日本一のお茶の産地は静岡県ですが、長崎県内でもおいしいお茶を作っ
 ています。大村市のとなり町、東彼杵町は「そのぎ茶」が有名で、お茶の品評会
 で全国1位になったこともあります。大村市内では、野岳地区や東大村地区
 に、茶畑があります。

まっちゃ つか こんだて 抹茶を使った献立

抹茶は、強い日差しが当たらないように育てたお茶の葉を、粉にしたもの
 です。今日は、八十八夜にちなんで、衣に抹茶を入れた「ちくわの抹茶揚げ」
 にしています。抹茶の香りを楽しんでみてください。



むかし ちゃ くすり 昔、お茶は薬だった

お茶発祥の地、中国では、解毒剤として用いられたり、不老長寿の薬として
 伝え広められたりしました。お茶全般に含まれているサポニンという成分は、強
 い苦みをもち、泡立つという特徴があります。サポニンには、菌やウイルスをや
 っつける力があるといわれています。